

令和6年度第1回 交野市文化財審査委員会

日時：令和6年4月30日（火）午後1時から

場所：交野市立青年の家 1階 展示室

次第

1. 開会

2. 案件

- (1) 報告1 令和5年度文化財事業の進捗状況及び令和6年度予定
- (2) 議案1 今後の市指定文化財指定の方向性
- (3) その他

3. 見学会

交野市立教育文化会館 企画展

4. 閉会

令和 6 年 第 1 回

交野市文化財審査委員会議案

令和 6 年 4 月 3 0 日

交野市文化財審査委員会

議 事 日 程

令和6年4月30日

日程第 1 報告第1号 令和5年度文化財事業の進捗状況及び令和6年度の予定

日程第 2 議案第2号 今後の市指定文化財指定の方向性

日程第 3 視察（教育文化会館・吉向松月窯展）

報告第1号

令和5年度文化財事業の進捗状況及び令和6年度の予定

交野市文化財保存活用地域計画に基づき、令和5年度事業の進捗報告及び令和6年度の事業予定を、次のとおり委員会に報告する。

交野市文化財保存活用地域計画（抜粋）・・・・・・・・・・別紙のとおり
令和5年度の文化財事業の進捗状況・・・・・・・・・・別紙のとおり
令和6年度教育施策（抜粋、文化財事業）・・・・・・・・・・別紙のとおり

令和6年4月30日提出

交野市文化財審査委員会

会長 中井 均

令和5(2023)～令和14(2032)年度

交野市文化財保存活用地域計画

【本編】

交野市教育委員会

第7章 「交野の歴史文化」の保存と活用に関する措置

7-1. 基本方針に基づく措置

第5章で設定した課題解決に向けた「5つの基本方針」をもとに、「交野の歴史文化」の保存と活用に関する「13の方針」とその「20の措置」を示します。

課題への対応

基本方針	措 置
方針1：「交野の歴史文化」の把握	
1-1：文化財調査の実施	1：重点遺跡の発掘調査及び整理
1-2：データベースの整備	2：「交野の歴史文化」の悉皆調査及びデータベース化
1-3：市史編纂事業の推進	3：市史編纂に関する調査と続編の刊行
方針2：「交野の歴史文化」の保存	
2-1：文化財の維持保全	4：未指定文化財の指定等の検討
	5：指定等文化財の保存・継承等
2-2：文化財の防災・防犯対策	6：指定等文化財の防災・防犯対策（防災・防犯）
方針3：「交野の歴史文化」の活用	
3-1：体験型プログラムの充実	7：子ども体験教室
	8：「交野の歴史文化」めぐり
3-2：文化財の公開	9：教育文化会館の充実（保存・活用）
	10：文化財の公開
3-3：観光施策との連携強化	11：「交野の歴史文化」体験授業
	12：「交野の文化財」の交野ブランド化への取組み
	13：周遊コースの設定（設定・案内）
方針4：「交野の歴史文化」の周知・啓発	
4-1：情報発信の充実	14：SNSの活用など情報発信の充実
4-2：文化財の周知	15：「交野の歴史文化」を知る機会の創出
	16：文化財講座の開催
4-3：学校教育との連携	17：学校支援の充実
方針5：「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくり	
5-1：人づくり	18：地区や活動団体への取組み支援（後継者育成・活動支援）
5-2：しくみづくり	19：市内の連携体制の推進
	20：広域の連携体制の推進

本計画は、大阪府文化財保存活用大綱や上位計画の交野市総合計画などを勘案し、「交野の歴史文化」や地域の実情を踏まえ、文化財保護行政としての措置および事業を以下に示します。事業はさらに細区分しています。

基本理念「残して、活かそう交野の歴史文化、つなごう未来、次世代へ」の実現のために、文化財の保存と活用に関する課題を捉え、文化財を総合的・一体的に把握する方法も用い、市民、地区（地域コミュニティ）、各種団体、文化財所有者、市役所等が連携を図り、実現するための10か年計画です。

実施する事業は次のとおりとし、集中して実施する期間を示します。これらの事業は、市の財源のほか、国（文化庁）及び大阪府の各種補助金や地方創生推進交付金などに加えて民間資金も活用し、本計画の実現に取り組めます。

【凡例】
 <事業No> ★…重点事業 <取組主体> ◎…中心になって取組む ○…協力して取組む
 <事業の継続性> ↔ 既存事業 ←→ 新規事業

1：「交野の歴史文化」の把握

「交野の歴史文化」はこれまでに把握した以外にも多数残されていることが予想されます。引き続き調査や整理を進め、その成果を市史として編纂することを目指します。

措置No	事業No	事業名	内容	取組主体（推進機関）					実施期間（R5～R14年度）				
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5～10年目
1	1-1	重点遺跡の発掘調査及び整理	市街化区域内にある交野郡衙跡及び長室寺跡の発掘調査及び出土品の整理作業を進め、報告書にまとめます。		○			◎	↔				
2	2-1	文化財の悉皆調査及びデータベース化	近代の美術工芸品（絵画、彫刻、書籍・典籍）など文化財の悉皆調査を実施し、資料のデータベース化を進めます。		○		○	◎	↔				
3	3-1	市史編纂のための調査の継続	社寺・仏閣などに保存されている古文書等の美術工芸品の調査を継続して進めます。		○		○	◎	↔				
	3-2	市史編纂	社寺・仏閣編や考古編Ⅱの市史の編纂を引き続き行います。					◎					↔

2：「交野の歴史文化」の保存

未指定文化財の指定等を進めて「交野の歴史文化」の保存に努めます。

措置No	事業No	事業名	内容	取組主体（推進機関）					実施期間（R5～R14年度）				
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5～10年目
4	4-1	未指定文化財の指定等の検討	文化財の指定等による保護措置を行います。特に、現在指定等文化財がない郡津地区の石造文化財について検討します。		○		◎	○	↔				
5	5-1	指定等文化財の維持管理	指定等の文化財について、保存状態を把握し、適切な維持管理を推進します。				◎	○	↔				
	5-2	文化財の保存	旧集落の町並みや古き良き景観等の保存に努め、消滅する場合には映像等によるアーカイブとして保存します。				◎	◎	←→				

5	5-3	保存活用計画の作成の推進	指定等文化財のうち、特に個人所有の住宅を保存・継承することを目的とし、個別の「保存活用計画」の作成を推進します。				◎	◎	←————→				
6	6-1	指定等文化財の防災対策の促進	所有者への消防設備の設置・点検の指導や市民の指定等文化財に対する防災意識を高めます。(詳細 P95)	○	○		◎	○	←————→				
	6-2	指定等文化財の防犯対策の促進	所有者等への防犯設備の設置・点検の指導や市民と連携した防犯活動の促進を図ります。(詳細 P96)	○	◎		◎	○	←————→				

3 : 「交野の歴史文化」の活用

「交野の歴史文化」を身近に感じる体験や見学できる活用事業を充実させ保存につなげます。

措置 No	事業 No	事業名	内容	取組主体 (推進機関)					実施期間 (R5~R14 年度)				
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5~10年目
7	7-1	親子体験教室	戦国時代体験や機織り体験等から親子で「交野の歴史文化」に触れる機会を設けます。			◎		○	←————→				
8	8-1	「交野の歴史文化」めぐり	市民参加の「交野の歴史文化」をめぐるスタンプラリーやノルディックウォーク等を実施します。			◎		○	←————→				
9	9-1	教育文化会館の修理	「交野市立教育文化会館保存修理計画案策定報告書」により、建設当初の設計図を参考に、建築当時の姿(美観)を復原修理することで、国登録文化財の保存及び魅力の向上を図ります。					◎	←————→				
	9-2	教育文化会館の活用	展示空間を見直し、展示内容のリニューアルやネット環境整備を行い、計画の拠点として活用します。					◎	←————→				
10	10-1	文化財の公開	国・府・市指定等文化財の公開日や時間を増やします。				◎	○	←————→				
11	11-1	「交野の歴史文化」体験授業	かたのツーリズム協議会や、観光協会、商業連合会等と連携し、文化拠点施設を中心に、「交野の歴史文化」の外国人を含む観光客向け体験授業を実施します。	○	○	◎	○	○	←————→				
12	12-1	市内文化財の交野ブランド化への取組み	「吉向松月齋」や「交野節」、「交野木綿」のPRを他部局と連携して行います。		○	◎		○	←————→				
13	13-1	周遊コースの設定	「保存活用区域」を中心に「交野の文化財」を周遊するコースを設定し、パンフレットやマップ作成を行います。	○	○	◎	○	○	←————→				
	13-2	案内板等の設置	「交野の文化財」や周遊コースのための案内板等の設置を外国語併記で行います。	○	○	○	◎	○	←————→				

4 : 「交野の歴史文化」の周知・啓発

情報発信を充実させ、「交野の歴史文化」について市民の理解が深まるよう努めます。

措置 No	事業 No	事業名	内容	取組主体 (推進機関)					実施期間 (R5～R14 年度)					
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5～10年目	
14	14-1	情報発信の充実	市民が親しめるような文化財情報を発信するホームページ等にリニューアルします。また、適宜情報を更新します。					◎	←————→					
15	15-1	「交野の歴史文化」のガイドブックの刊行と配布	親子で楽しめるガイドブックを刊行し、小学校等への配布を行います。		○	◎		○	←————→					
	15-2	市民を対象としたワークショップの開催	「交野の歴史文化」を知ることにより、交野への愛着や誇りを深めることを目的としたワークショップを地区毎に行います。	◎	◎	○		○	←————→					
	15-3	郷土史コーナーの充実	公民館や図書館の郷土史コーナーの充実を図ります。		◎			◎	←————→					
16	16-1	文化財講座の開催	若い世代も興味を持てるような交野の歴史文化に関する講座を開催します。			◎		○	←————→					
17	17-1	体験学習の充実	市内小学校の教育文化会館の展示見学や綿織り体験等の受入れを継続します。			○		◎	←————→					
	17-2	学習支援の充実	遠隔地にある小学校の学習支援のため、学習メニューを開発し、オンライン学習を実施します。			○		◎	←————→					

5 : 「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくり

「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくりについては、交野市文化財保護委員・文化財審査委員会委員とも連携して取組みます。

措置 No	事業 No	事業名	内容	取組主体 (推進機関)					実施期間 (R5～R14 年度)				
				市民	地区	各種団体	所有者	交野市	1年目	2年目	3年目	4年目	5～10年目
18	18-1	文化財保存・活用の担い手の育成支援	地域や活動団体等、担い手の育成をはじめとした取組みを支援し、連携体制を整備します。また市民ボランティアの育成に取組みます。	○	○	○	○	◎	←————→				
	18-2	無形の文化財・無形の民俗文化財の継承	市内の伝統的酒造や窯業などの無形の文化財や、交野節(私市おどり)などの無形の民俗文化財の継承のため、その周知と後継者育成を推進するためのPR活動を含め支援を行います。		◎	◎	○	○	←————→				
19	19-1	本計画の推進体制の確立及び事業推進	地区や文化財保護団体、観光団体、商業団体等と連携した地域機関を設置し、文化財の保存・活用事業を進めます。		○	○	○	◎	←————→				
	19-2	相談窓口の充実	青年の家に窓口を置き、文化財所有者や市内の文化財活動団体との各種文化財相談を行います。					◎	←————→				

交野市文化財保存活用地域計画について

本市教育委員会では、令和5年より『交野市文化財保存活用地域計画』に基づいて「交野の歴史文化」の保存と活用に係る環境整備を地域総掛かり（市民、地区、各種団体、所有者、交野市）で取り組んでいます。

今年度は、「5つの基本方針」をもとに以下の事業を実施しました。

基本方針1. これまでに把握した以外にも多数残されていることが予想されます。引き続き「交野の歴史文化」の把握 調査や整理を進め、成果を市史として編纂することを目指します。

事業No.	措置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
1-1	重点遺跡の発掘調査及び整理	・埋蔵文化財調査（確認調査6件、試掘調査1件、工事立会4件） ・長宝寺跡遺物整理	交野市	5年以上	○
2-1	悉皆調査及びデータベース	・データベース入力作業中	交野市	5年以上	○
3-1	市史編纂のための調査の継続	・市内の古文書調査（私部村文書整理、星田村文書報告書）	交野市	5年以上	○

基本方針2. 未指定文化財の指定等を進めて「交野の歴史文化」の保存を進めます。「交野の歴史文化」の保存

事業No.	措置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
4-1	未指定文化財の指定等の検討	・江戸時代以来の伝統ある吉向松月窯（私市）について、所蔵品の概要調査を実施した。合わせて国内外の博物館等所蔵の「吉向焼作品リスト」を作成した。また、広く一般に周知するため今年1月より教育文化会館において「吉向松月窯展」を開催している。	所有者 ・交野市	5年以上	◎
5-1	指定等文化財の維持管理	・史跡、私部城跡、清水谷古墳などの草刈りや樹木の剪定、保護柵の修繕、防草マットの設置等を実施し、指定等文化財のより良い環境を維持しました。	交野市	5年以上	○
5-2	文化財の保存	・重要文化財の建築物や発掘調査の出土品、古文書等の文化財の保存状態を確認し、維持管理に努めました。また、旧集落古民家・石像物等の記録化を進めています。	交野市	5年以上	○
5-3	保存活用計画の作成の推進	・指定文化財について、特に個人所有の住宅を保存・継承することを目的として、保存活用計画の作成を推進しました。	所有者	5年以上	○
6-1	指定等文化財の防災対策の促進	・文化財所有者に対して、消防設備のための補助金を交付した。また、消防署と連携した防災点検を実施した。	所有者 ・交野市	5年以上	○
6-2	指定等文化財の防犯対策の促進	・所有者に対して、文化財に防犯設備を設置することや、防犯設備の点検実施を指導することにより、市民と連携した文化財に対する防犯活動の推進を図った。	所有者 ・交野市	5年以上	○

基本方針3. 「交野の歴史文化」を身近に感じる体験や見学できる活用事業を充実させ保存「交野の歴史文化」の活用 につなげます。

事業No.	措置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
7-1	親子体験教室	・腰機体験（コースター製作7名参加）	各種団体	5年以上	○
8-1	「交野の歴史」めぐり	・交野市星のまち観光協会事業として、市内の各地区を見学する「交野の歴史文化めぐり」を実施した。国の補助金を活用し、8ビットシティカタノゲームを作成しインターネットで公開した。	各種団体	5年以上	◎
9-1	教育文化会館の修理	・市の財政状況により、国の補助金を活用した大規模改修計画は先送りとなった。その間、小規模改修を実施して対応する。今年度の建物自体の大きな損傷はなく、工事はなかった。展示ケース等備品の修繕を実施した。	交野市	5年以上	△
9-2	教育文化会館の活用	・特別展・企画展・スポット展等を開催し、4,267人の入館者があった。また、市内小学校3年生の体験学習の場としても利用されている。常設展の見直しについては次年度以降着手を予定している。	交野市	5年以上	○
10-1	文化財の公開	・春季・秋季に市主催で市民向けに文化財公開を行った。また、交野市星のまち観光協会や生駒市観光協会などの団体と連携して公開を実施した。	所有者	5年以上	○
11-1	「交野の歴史文化」体験授業	・私部城を活かし守る会が、国の補助金を活用して私部城跡にて城跡の遺構を歩いて学んだり、関連スポットのスタンプラリーを行ったほか、昔遊びを体験する事業を実施した。	各種団体	5年以上	◎
12-1	市内文化財の交野ブランド化への取組み	・交野ブランド化のため、吉向松月窯の所蔵品調査及び1月31日から教育文化会館での展示を行い、海外の博物館で所蔵されている事も含めて将来の市指定文化財に向けてPRすることができた。	各種団体	5年以上	◎
13-1	周遊コースの設定	・「保存活用地域」を中心に「交野の文化財」を周遊するコースを設定し、パンフレットやマップの作成のための準備を行った。	各種団体	5年以上	○

基本方針4. 情報発信を充実させ、「交野の歴史文化」について市民の理解が深まる「交野の歴史文化」の周知・啓発 よう努めます。

事業No.	措置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
14-1	情報発信の充実	・市民が親しめるような文化財情報を発信するホームページ等のリニューアルを検討した。「今こそ家康推し！家康公大坂の陣記念プロジェクト2023」を追加した。	交野市	5年以上	○
15-1	「交野の歴史文化」のガイドブックの刊行と配布	・交野市星のまち観光協会で、「交野の歴史文化めぐり」の見学スポットである私部城のガイドブックを作成し配布した。	各種団体	5年以上	◎
15-2	市民を対象としたワークショップの開催	・交野市星のまち観光協会が「交野の歴史文化めぐり」のガイドブック作成に関するワークショップを実施した。また、古文化同好会・都市計画研究会が連携してフェノロジーカレンダー作成（市内小学校に配布）のためのワークショップや、夏休みの小学生向け講座を実施した。	市民・地区	5年以上	○
15-3	郷土史コーナーの充実	・徳川家康関連資料紹介コーナーを星田図書館に設置したほか、これまで配布できていなかった講座資料等を追加し倉治図書館内の郷土資料コーナーを充実させ、一部の郷土資料を図書館のホームページで公開した。	地区	5年以上	◎
16-1	文化財講座の開催	・(公財)大阪府文化財センターの協力を得て、市民文化財講座「大坂夏の陣」の開催（11/3、参加者66名）	交野市	5年以上	○
17-1	体験学習の充実	・交野みらい小、藤が尾小、郡津小、私市小、倉治小の各3年生総勢436名参加	交野市	5年以上	○
17-2	学習支援の充実	・市教委指導課と連携し、市内小学生を集めて現代版私部城をマイクラフト上で復元し、ホームページで公開した。	交野市	5年以上	◎

基本方針5. 「交野の歴史文化」の保存・活用のための人づくり・しくみづくり
「交野の歴史文化」の保存・活用のため くりについては、交野市文化財保護委員・文化財審査委員会委員の人づくり・しくみづくり とも連携して取り組みます。

事業No.	措置	今年度実施事業	取組主体	実施期間	進捗状況
18-1	文化財保存・活用の担い手の育成支援	・交野市星のまち観光協会は国の補助金を活用し、文化財保存・活用の担い手育成のために「交野歴史文化めぐり」講座（10回）を開催し、「交野市・歴史文化愛好市民の証」を30名に発行した。	交野市	5年以上	◎
18-2	無形文化財・民俗文化財（無形）の継承	・江戸時代から続く吉向松月窯の伝統的な技術の市指定文化財に向けて調査を実施した。今年度は黒楽窯の操業の記録化に向けて準備を行った。	地区・各種団体	5年以上	○
19-1	本計画の推進体制の確立及び事業推進	・地域の関連団体や市関連部局で構成する保存活用推進会議を設置し、国の補助金を活用した事業計画を立案した。	交野市	5年以上	◎
19-2	相談窓口の充実	・教育文化会館で文化財に関する問い合わせを受け付け、情報・資料提供等を行った。	交野市	5年以上	○
20-1	周辺の自治体や大学等との連携体制の推進	・府指定文化財の交野東車塚古墳出土の刀剣について、奈良大学へ再調査（レントゲン撮影）を行い、出土時には確認できなかった「目釘孔」が存在していることが各刀剣で見つかる等成果が上がった。	交野市・関係機関	5年以上	◎

※事業の進捗状況：◎予想以上 ○予定どおり △やや遅れ ▲実施しなかった ×中止



令和6年度

交野市教育施策

交野市教育委員会

第4節 文化財保護の充実

【基本的方向と取組みの工程】

・我々の祖先が築き、今まで連綿と守ってきた文化遺産や伝統文化を次世代に継承のための、「文化財保存活用地域計画」に基づく文化財保護活動の推進

事業名	内容	関係部署	関連	R6年度目標
文化遺産の適切な維持保全	指定文化財の適切な維持管理	社会教育課	所有者 文化財専門委員等	補助金交付数 2件 一般公開等 4回
埋蔵文化財発掘調査の実施	埋蔵文化財を保護するための発掘調査及び報告書作成	社会教育課		調査件数 15件 報告書冊数 1冊
文化財の普及啓発	歴史民俗資料展示室公開を通じた市民への文化財の普及啓発	社会教育課		見学者数 4,000人 企画展・スポット展示 5回
文化財保存活動	・文化財に対する調査研究及び講座などによる市民への報告 ・体験講座・出前講座の開催	社会教育課		市民文化財講座等の開催 1回 体験講座・出前講座の開催 10回

【令和6年度具体的施策】

1 文化遺産の適切な維持保全

指定文化財の所有者、管理者と協力し、指定物件の消防設備の点検及び環境整備、文化財パトロール等を行い、適切な維持管理に努めます。指定文化財の一般公開にあたっては、所有者の協力を得て開催します。

市指定文化財（史跡）の私部城跡をはじめとした市所管の文化財については日常の維持管理に努め、広報活動を通じて周知を行います。

文化財保存活用地域計画の実施にあたっては、関連団体で構成される推進会議にて検討します。

2 埋蔵文化財発掘調査の実施

国庫補助金を活用し、個人住宅などの開発に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施し、その結果を報告書にまとめます。

3 文化財の普及啓発

市内の文化財の案内等を行います。また、より多くの市民に身近に文化財を実感できる機会を提供し、交野の歴史文化の素晴らしさについての理解を深めます。特に、学校や地域と連携し、歴史文化を学習する機会を提供します。

4 文化財保存活動

文化財の保護と市民に親しまれる歴史・文化環境をめざすため、考古・民俗・古文書等の文化財に対する調査研究を行い、交野の歴史文化を市民に報告する講座等を開催します。体験講座では市内各小学校が授業で活用できるよう検討を進めます。

議案第2号

今後の交野市指定文化財指定の方向性について

交野市文化財保護条例（昭和58年7月27日条例第14号）第3条第3項の規定に基づき、交野市指定文化財指定の方向性について、委員会の承認を求める。

「交野の文化財」指定・登録・選定等候補・・・・・・・・・・・・・・・・別紙のとおり

令和6年4月30日提出

交野市文化財審査委員会

会長 中井 均

